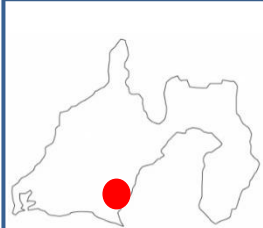


- 令和3年度に牧之原農泊推進協議会を立ち上げ、地域一体となり観光誘致に取り組める体制を整備
- マリンスポーツや農業体験を創出し、既存の宿泊施設を「遊んで泊まれる宿」としても集客可能にする
- 国内の若者・教育旅行客や台湾からのインバウンド客など、幅広く新規顧客の開拓を行っていく

静岡県牧之原市



【実施体制】



【特徴的な取組】

- 静波海岸や勝間田川を活かしたアクティビティや特産に関わる農業体験など約14の新規体験を作成/整備
- 茶など特産品の見える化
- 台湾のメディアを販路としたインバウンド客の獲得



SUP体験



お茶摘み・手揉み体験



特産品の見える化

【取組内容】

<誘客コンテンツ>

ターゲットを明確にし、今まで取りこぼしてきた海水浴客以外の旅行客を狙った体験コンテンツ、食メニューを開発

<宿泊>

今まで宿泊客側に認知されていなかった体験を積極的に宿泊とセットで販売し、「遊んで泊まれる宿」を提供

泊食分離の考えに基づき、宿泊施設での飲食だけでなく町での飲食に繋げる

<広告・PR>

台湾メディアと協力した販路の獲得およびSNS各種を活用した広告

宿泊施設でのパンフレットによる地域の体験紹介

宿泊施設の対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
 Wi-Fi	 WC				

【採択年度】
令和4年度

【事業実施期間】
令和4～5年度

【代表的な観光資源】



静波海岸



牧之原大茶園